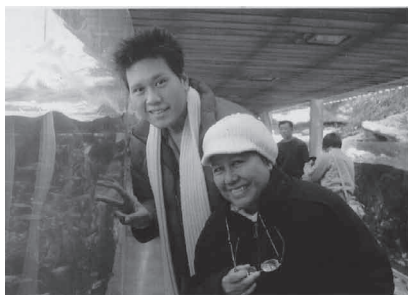


# Hi! アンドレです

社会教育指導員  
アンドレ・エスタニスラオ

みなさんが、この文章を読む時には、私は小野町にはいません。なぜなら、その頃、私は、フィリピンで新しい生活を始めているからです。

私が、2年前に初めて成田国際空港に到着した時、その当時の公民館の先崎幸雄館長が車で私を迎えに来てくれて、小野町まで送迎してくれたことを、昨日のこのように思い出されます。私は、最初の高速度道路のパーキングで休憩した時、多くの自動販売機があったことに驚きました。私は、小野町までの長い道のりの車の中で、本当に日本に来たのだなということを実感しました。



私は、アパートと車が準備される2週間、先崎館長の家に宿泊させていただきました。その間、先崎館長を始め家族の方々には、本当に良くしてもらいました。

また、2005年11月に、私の両親が来て、みんなが私と両親と一緒に食事をして、そして「バンブー」でカラオケをした時、マスター達が、私達を優しく本当の家族の一員のようにもてなしてくれたことに、とても感激しました。

小野町の国際交流協会の人達が、国際間の相互理解や国際関係について、様々な活動を通して、素晴らしい手助けをして頂きました。



英会話教室やヨガ教室、そして中学校の生徒などみんなのサポートがあって、私は充実した生活を送ることができました。私は、英会話教室を通して、素晴らしい友人をつくることができました。そして、英会話教室にきてくれたメンバーに対して、感謝の気持ちでいっぱいです。また、生徒の英語の能力が、すばらしく向上したことに対し本当に驚かされました。私は、生徒にこれ以上何も求めることはありません。私は、この英会話教室が、本当に楽しみでした。



みなさんが決して英語を学習することをあきらめないよう、そして、常に楽しみを持つ

ことを希望します。

私が、1日の長い中学校の授業が終わり、疲れて帰る時、クラブ活動をしている生徒達が、私のところに近づいてきて、笑顔で手を振り、こんにちはと言ってくれました。私が疲れていたり、元気が無くなっている時に、子ども達の笑顔や笑い声は、本当に私を力づけてくれました。教師であることの最も素晴らしい点は、生徒の笑顔を見ることができ



ことです。私は、「中学生の翼」に参加し、ニュージャージーのグレンロックに行った生徒や、私に色々指導してくれた先生達、そして、2年間、英語の学習に携わったすべての生徒に感謝したいです。

最後に、私の友達になってくれた小野町のみなさんに感謝します。正直に言うと異国の地において一人で暮らすということは、本当に難しいことです。私は、16歳の時から、8年間にわたり海外で勉強し、一人で生活してきました。それは、本当に孤独になることもあり、時々ホームシックになったり、悲しくなったりもします。友達なしでは、この長い海外での生活を続けることはできなかったです。日本、そして小野町が、私の第二の生まれ故郷になりました。そして、その友達は、家族であり、生活の一部となりました。いままで、本当にお世話になりました。私は小野町のみなさんに感謝したいです。そして、さようなら。



アンドレ先生、2年間大変お世話になりました。帰国後は、フィリピンの外務省に勤務されるということです。

今後のご活躍をお祈りいたします。